

# hiki 編集作業を容易にするツールの開発

情報科学科 西谷研究室 3554 山根 亮太

## 1 目的

本研究の目的は,hiki の編集作業をより容易にするためのツールを開発することである.hiki は通常 web 上で編集を行っているが,GUI と CUI が混在しており,操作に不便な点がある.そこで,編集操作が CUI で完結するために開発をされたのが hikiutils である.しかし,そのユーザインタフェースには問題がある.現在 hiki でコマンドを入力する際,ユーザーは瞬間的にそのコマンドの機能や意味を判断することが難しく迷いが生じてしまうことがある.なので.この部分を 開発することによりこの問題を解決したい.

## 2 システムについて

### 2.1 hiki について

hiki とは wiki エンジンの 1 つとされており,プログラミング言語 Ruby を用いられることで作られた wiki クローンである. hiki の主な特徴として

- オリジナル wiki に似たシンプルな書式
- プラグインによる機能拡張
- 出力する HTML を柔軟に変更可能
- ページにカテゴリ付けできる
- CSS を使ったテーマ機能
- 携帯端末可能
- InterWiki のサポート
- HikiFarm に対応
- ページの追加,編集がしやすい

等がある [1].

### 2.2 hikiutils について

hikiutils は hiki の編集作業を容易に行うことができるようにするツール群であり,プログラミング言語 Ruby のライブラリである gem フォーマットに従って提供されている [2]. hikiutils は CLI(Command Line Interface) で操作するため,オプション解析をおこなう必要がある.gem には,この用途に適合したライブラリがいくつも提供されている [3]. この中で,あまり利用頻度は高くないが古くから開発され,使用例が広く紹介されている optparse を利用している.

## 3 手法

このような CLI の階層的なコマンド実装を示した code として Todo という gem アプリケーションがある [4]. このプログラムでは lib/todo/command/options.rb

にサブコマンド用の定義があり,入力されたコマンドは lib/todo/command.rb で判断されることにより lib/todo/command/options.rb 内で実行される. hikiutils のプログラムの構造は Todo アプリケーションのプログラムの構造と似たものであり hiki の編集を容易にするためのツール群のため,この部分の編集を行うことでコマンド名を書き換える.

## 4 考察

現在 Todo アプリケーションのコードを追いかけて,プログラムの構造を理解している.また,直感的なコマンドとして以下のようなものを考えた.

version	show program Version.
show	show sources
add	add sources info
set VAL	set target id
open FILE	open file
list FILE	list files
update FILE	update file
rsync	rsync files
read db FILE	read database file
display FILE	display converted hikifile
check db FILE	check database file
remove FILE	remove file
move file1 file2	move file1,file2
euc FILE	translate file to euc

上記のコマンドは git 風のコマンド名に変更してみた.今後の課題としては,実際に hikiutils 内でそのコマンドの編集を行って実装し,そのコマンドが分かりやすいものであるかどうかを検討する必要がある.

## 参考文献

- [1] 「hiki」,hikiwiki.org/ja/about.html,2016/9/2 アクセス.
- [2] hikiutils,https://rubygems.org/gems/hikiutils,2016/9/2 アクセス.
- [3] The Ruby Toolbox, CLI Option Parsers,https://www.ruby-toolbox.com/categories/CLI\_Option\_Parsers,2016/9/2 アクセス.
- [4] 「パーフェクト Ruby」,Ruby サポートーズ (技術評論社 2013).